

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。

**pip
star**

※掲載情報は4月14日現在です。

おめでとう

全日本ジュニアスキー選手権大会出場

#046 Kosuke Kawamoto

川本 晃輔 さん

比布中央学校 7年生



3月22日から5日間、長野県で開かれた「JOCジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会アルペン競技」に、比布中央学校6年生(当時)の川本晃輔さんが出場しました。

大会はカテゴリー・男女別に、大回転(GS)と回転(SL)の2種目が行われ、川本さんはK1(小学5・6年生)で大回転8位、回転7位に入賞という見事な成績を収めました。

スキーを始めたのは4歳の時。「3歳上の兄が楽しそうにやっていたから」と

振り返る川本さんは、小学1年生まで住んでいた土別市朝日町のアルペンスキー少年団「朝日ASS」に所属し、練習を重ねています。

昨シーズンは思うような結果が出ず悔しい思いをしました。それをバネに努力を重ね、今年2月に開かれた選考レースでは大回転で優勝、回転で準優勝し、北海道代表の座を勝ち取りました。「しばらく実感がわかなかった」と語る笑顔には、喜びがにじみます。

さらに、今シーズン行われた北海道ユースレース(K1)全13戦のうち7戦で優勝し、ポイント数で総合優勝。勢いそのままに、全国の舞台へ臨みました。

100人を超える選手の中、堂々と滑走し賞状を手。「緊張して攻めきれなかったのが悔しいけど、初めての全国大会で入賞できて嬉しい」と話してくれました。

後期課程でも、勉強と両立しながら競技を続けたいという川本さん。「どんな大会でも勝てる選手になりたい」と意気込んでいます。



ニューフェイス
比布をつくる新たな顔。

PIPPU LOVERS

比布町教育委員会

vol.23

村山 望 課長補佐



4月1日付けで、比布中央学校音楽科教諭の村山望氏を、比布町職員としてお迎えしました。

教職員は原則、平均6年ごとに転勤となりますが、村山氏は在任中、白寿大学での講師活動やキャリア教育の推進などを通じて、学校内外で町に大きく貢献をされてきました。

その功績と熱意を受け、村中町長・北川教育長が「町に残ってほしい」と希望。村山氏自身も「比布の子どもたちに音楽の楽しさを伝え続けたい」という思いから、町職員としての採用が実現しました。

今後、村山氏はこれまでどおり比布中央学校での授業や吹奏楽部の指導に携わるほか、教育委員会事業の企画・運営や、部活動の地域移行における中核的な役割を担います。

このような形での採用は道内でも珍しく、村山氏は「音楽はもちろん、今回いただいた立場だからこそできる教育に積極的に取り組みます」と話されました。